

日本感情心理学会第24回大会 若手研究者ワークショップ1

「感情研究の現在を読む3」

日時：2016年6月17日（金）14:00～16:00

会場：筑波大学 人間系学系棟 A101

企画・発表者：藤原 健（大阪経済大学）

木村健太（産業技術総合研究所）

藤村友美（産業技術総合研究所）

発表者：金井雅仁（筑波大学大学院）

白井真理子（同志社大学大学院）

企画趣旨：

感情研究の展開はその勢いを増し、様々な分野で活発な議論が行われているように見受けられる。しかし、感情とは何で、どのように理解していくべきなのかという感情研究の大きな問いに答えるためには、分野ごとでの細分化を進めるだけでは多分に心許ない。統合的な視点に立ち、それぞれの実証的知見をまとめあげていく理論的な枠組みを見つめていく必要がある。

そこで今回は、感情理論に関する最新の議論を題材とすべく、Barrettらが展開するPsychological Constructionを中心とした研究会を実施したいと考えている。具体的には、これまで取り上げてきたEmotion Review誌ではなく、2014年10月に出版されたThe Psychological Construction of Emotion (Barrett, L. F., & Russell, J. A.)を用いた読書会を企画する。企画の趣旨としては、Psychological Constructionの考え方を題材とすることで、感情理論について再考察、あるいは参加者それぞれの感情についての考え方の再認識を促すことができればと思っている。そこで今回の読書会では、理論の概説となっているPart Iまでを主な範囲とする(必要に応じて範囲は調整する)。基本的なスタンスはこれまでと同様に、発表者の発表を議論の素地として参加者全員で好きなことを言い合いながら今後の感情研究の方向性を考えられるような会にしたい。もちろん、当日は非発表者も奮ってご参加いただきたいと考えている。

本企画への質問や発表希望のご連絡は藤原([ken.fuji あつと osaka-ue.ac.jp](mailto:ken.fuji@osaka-ue.ac.jp))までお願いします(あつとを@に変更してください)。発表したくても本が手元になくて困るという方も、ご相談いただければできる限りでご対応いたします。